

西尾一色ロータリークラブ月報

2025-26 年度
国際ロータリー
会長メッセージ

よいことの
ために
手を取りあおう

2026年 5月号

URL <http://www.katch.ne.jp/~ishikirc/> E-Mail ishikirc@katch.ne.jp

第2997回 例会 令和8年5月14日(木)

出席委員会委員長 山下 民義
会員総数 19名
本日の出席者(免除者) 15名(3名)
本日の出席率 78.9%

会長方針

何となく足が向く場所
居心地の良い場所

2025~2026 年度
西尾一色 RC 会長 神谷 林

例会場/一色町商工会館

事務局/一色町商工会内 Tel:0563-72-8276 Fax:0563-73-6633

【会報委員会】 鈴木茂朗 藤井知明

会長あいさつ

会長 神谷 林 君

午前中のカーネーション事業に出席された方はありがとうございました。私は欠席しまして申し訳ありませんでした。

この間7万円払ってすい臓がんを中心に線虫検査をした話をしましたが、その時は検査結果が良かったと思っていたのですが、友人にその数値がでているということはその可能性があると言われ、先日ペット CTを受けました。ガンは一応ないという結果でしたが、来週先生に説明を聞きに行ってきます。こういうことはこの年になるとわが身のこととして非常に気になりますね。来年は75歳になるので5年に一回の脳ドッグを受けに行きます。ガン・脳梗塞・脳溢血は取り返しがつかない事になるので定期的に検査は受けて行こうと思います。

今週のスマイル

親睦委員長 早川比呂太 君

神谷 林君 森様の卓話楽しみに聞かせてもらいます。
渡邊 徹君 岡地証券 森様、本日はよろしくお願いします。
鳥居万里君 岡地証券 室長森裕泰様、西尾一色 RCにお越しいただきありがとうございます。今日は2回目となります。1回目は10年くらい前になります。よろしくお願い致します。
牧野美恵君 皆様今日はカーネーション事業お疲れ様でした。これまで準備されてきた皆様お疲れさまです。1年生が喜んでくれてよかったです。
藤井知明君 ようこそ西尾一色 RC へ。岡地証券 室長森様、卓話よろしくお願い致します。
久米健史君 森様、宜しく願い致します。
池田宣明君 本日、カーネーション事業おつかれさまでした。
早川比呂太君 岡地証券 森様、本日は卓話よろしくお願い致します。

8件 14,000円

本日の卓話

「新たなステージに入った株式市場」

岡地証券(株) 調査情報室 室長 森裕恭 様

1. マーケット動向と注目業界

1.1 マーケット動向と日経平均株価の推移

過去30年の値動きですが、2022年頃までの日経平均株価はおおむね一定の価格帯の中で上下をしていましたが、2023年頃から株価が大きく上昇しています。過去2~3年間で日経平均株価に影響を与えた出来事が大きく分けて3つありました。今後の日本株マーケット動向を予想するうえでもこの3つは非常に重要な要素になります。



1.2 日経平均株価の上昇要因①インフレーション

近年の日経平均株価の上昇要因の1つ目はインフレーションです。コロナによるサプライチェーンの混乱やロシアによるウクライナへの侵攻、円安の進行などを要因に日本でも2022年頃からインフレが定着しました。インフレが物価の押し上げ要因となるのは、物価上昇に伴い、モノやサービスの価格が上昇し、企業の売上や利益が名目ベースで拡大するためです。企業の売上や利益が増加するとそれに伴い株価も上昇します。また、インフレで企業が保有している資産の価値が上昇することも株価の上昇につながります。

1.3 日経平均株価の上昇要因②生成AIの登場

2つ目は生成AIの登場です。2022年11月30日にChatGPTがリリースされてから生成AIが広く普及しました。生成AIの登場は株式市場にも大きな影響を及ぼしました。生成AIという技術は今後あらゆるサービスで当たり前に使われる「次の時代のインフラ」になる可能性が高く、米国の大手ハイテク企業(GAFAM)を中心に莫大な設備投資が行われています。

この莫大な設備投資は、AI向けGPUの製造・販売をするエヌビディアを中心に多くのAI関連企業に利益を

もたらし、株価の上昇につながりました。日本国内にもエヌビディアの GPU 製造にかかわっている企業は多く存在していたため、生成 AI の爆発的な普及が日本株の上昇につながりました。

1.4 日経平均株価の上昇要因③高市政権の誕生

3 つめは高市政権の誕生です。2025 年 10 月 21 日に高市内閣が発足しました。高市政権は物価高対策と成長投資を含む戦略的な財政支出を打ち出しています。特に高市政権は重点投資対象 17 分野を掲げており、17 分野に関する企業の株の取引は「高市トレード」といわれ、物価が堅調に推移している企業が多くなっています。また、積極的な財政政策は一般的に円安につながるといわれています。日本の企業には円安で利益が増える輸出企業が多いため、円安の進行が足元の株価の上昇の一因にもなっています。

2. 注目業界

2.1 AI・半導体

AI・半導体業界は、デジタル社会の成長を根本から支える中核産業です。スマートフォンや PC といった身近な製品から、クラウドサービス・データセンター、そして近年急速に普及している生成 AI まで、あらゆるデジタル技術は半導体によって動いています。

特に AI 分野では、高速かつ大量の計算処理が求められるため、GPU をはじめとした高性能半導体の重要性がこれまで以上に高まっています。AI の進化とともに半導体市場は世界規模で拡大を続けており、今後も長期的な成長が期待される注目業界となっています。

近年は「フィジカル AI」と呼ばれる新たな動きにも注目が集まっています。ロボットや自動運転など、現実世界で動く AI では、高速かつ安定した処理が求められるため、半導体の性能が技術進化の鍵を握っています。高性能半導体の製造にはあらゆる企業がかかわっています。その中でも日本は半導体の製造装置や半導体材料で強みを持っています。特に最先端の半導体は非常に精密なため、装置や材料にも非常に高い技術力が求められます。

2.2 防衛

防衛産業は、国際情勢の変化を背景に、世界的に注目度が高まっている分野です。2022 年に起こったウクライナ戦争や今年に入って米国がベネズエラに対し攻撃を行うなど、世界的に地政学的なリスクが高まっています。

日本においても、台湾有事が現実的な安全保障リスクとして意識されています。台湾は日本に地理的に近く、有事の際には日本周辺の安全保障や米国との同盟関係に影響を及ぼす可能性があります。

実際に日本の防衛費も年々増加しており、2025 年度は約 9.9 兆円となっています。今年度は当初予算に加え 1.1 兆円の補正予算も計上しており、目標としていた防衛費の対 GDP 比 2%を前倒して達成しました。

従来の防衛産業に加えて、近年では、宇宙・造船・ドローン・サイバーセキュリティなどの分野も防衛関連

として注目されています。その他にも、高出力マイクロ波兵器などの新兵器の開発や有事の際に使う特定利用空港・港湾の整備も進んでいます。

2.3 コンテンツ

コンテンツ産業は、日本の文化を世界に発信する成長分野です。アニメやゲームなどの日本発コンテンツはクールジャパン戦略のもと国際的な競争力を高めています。

近年は、こうしたコンテンツが訪日外国人旅行者の動機となるケースも増え、観光や消費、EC など他産業への波及効果も拡大しています。

2.4 金融業界（証券）

証券業界は、企業の資金調達と個人の資産形成を支える、金融の中核を担う産業です。株式や債券の売買仲介に加え、企業の株式上場（IPO）や M&A 支援などを通じて、経済活動を資本市場の側面から支えています。近年は、新 NISA の開始を背景に個人投資家の裾野が広がり、「貯蓄から投資へ」という流れが加速しています。また、株価の上昇や市場の活性化により、資産運用への関心も高まっています。こうした環境変化を受け、証券業界は個人・企業の双方から注目される分野となっています。

2.5 金融業界（銀行）

銀行業界は、預金・融資・決済などを通じて、個人や企業の経済活動を支える金融システムに中核を担う産業です。

近年、日本では長く続いてきた低金利環境が転換点を迎え、金利上昇局面に入りつつあります。これにより、銀行の収益構造や金融ビジネスの在り方が大きく変化しています。

また、企業の資金需要の変化や個人の資産運用ニーズの多様化を背景に、銀行には従来以上に高度な金融サービスや提案力が求められています。

ポール・ハリス・フェロー 藤井知明君



今週の献立

【かん田】